



## 「169のこころ」

少し前のことですが心に残ったエピソードです。

10月のおやつで「金メダルクッキー」がありました。運動会で頑張ったみんなに、キッチンからも金メダルをと考えてのものでした。

おやつの時間に様子を見に行くと、担任の先生から一人ひとり金メダルクッキーをかけてもらい、得意げな顔でうれしそうにしていました。

その時に一人の子どもが「先生も頑張ったけん、金メダルのクッキーかけてあげたい!」と言うと、他の子どもたちも「先生、Tシャツも染めてくれたし、がんばったもんね!」「踊りも一生懸命教えてくれたもんね」「みんなで先生にメダルばやろう!!」と先生に金メダルクッキーをかけてあげていました。

すると「キッチンの先生にもあげたい!」「いつもおいしか給食作ってくれるけんやりたい!」との声があちこちから聞こえてきました。

周りの人に感謝する心が自然と言葉で出ることは、とても素敵な事だと思いました。

そんなみんなの心の中には、キラキラの金メダルが輝いているんだろうなと感じました。



## 12月の予定



子どもたちは「大切なもの」を見つける名人です。自分が「生命」に関わったものならなみさら。それがたとえ小さな負がらや新開先生の種であっても、目には空物のように、目には子どもたちのように愛情深く扱います。大人にとっての大切なものが、子どもの手にかかれば「何でも特別なもの」に変わります。「あなたにとっての特別な、私にとっても特別な」そう言ってくれば、人の存在は、きっと子どもの支えとなるでしょう。

保護者様におかれましては、ご多忙のなか10月末からのフェスウィークとバス旅行へのご参加ありがとうございました。お子様にとってまた素敵な思い出が増え、私たちも幸せな気持ちになりました。

さて、園では木々が鮮やかに色づき、秋の凛とした空気のなかで思い思いの時間を過ごす子どもたちですが、園外にお散歩へ行くことも増えてきました。先日、3歳児さんと5歳児さんが一緒にお散歩へ手をつないで出かける姿を見て、ふと心に留まったこと。それは子どもたちのカラー帽子です。未満見さんの時は帽子に被られているような、そんな風にぐすぐすの帽子を被っていたのが、だんだんと頭の大きさに合ってきて、それが5歳児さんになると帽子が小さく見え見えます。

入園されてから少しずつ色褪せながらも子どもたちの頭を包み続けてきたカラー帽子。何の変哲もない帽子ですが、子どもたちがその小さな体と心の中に思い出や体験を一つずつ大切に置き重ねながら確実に成長している証のようで、何とも心に沁みたのです。

大きな帽子を被った子も、小さな帽子を被った子も、武雄こども園にいるこの子たちが、自分だけの答えを見つけられますように。自分は自分のままでいい、とどんな時でも思うことができますように。そしてどうか、大切な人いつも静かに守られて生き、いつの日か大切な人を守ってあげられる人になりますように。

